

# 定例公安委員会の開催概要

定例公安委員会は、令和元年10月9日（水）に開催されました。

## 1 決裁事項

- ・ 犯罪被害者等給付金支給裁定申請の受理について
- ・ 秋田県公安委員会が実施する警備員指導教育責任者講習事務の警備業協会への業務委託契約について
- ・ 自動車運転代行業者に対する指示処分の実施について
- ・ 秋田県公安委員会関係手数料条例の一部改正について
- ・ 運転免許の取消処分について
- ・ 警察職員の援助要求について

## 2 審議事項

- (1) 県警察から、東京都公安委員会からの警察職員の援助要求があった旨の報告があり、審議した結果、原案のとおり特別派遣することを了承した。

委員から、『天皇陛下のご即位に伴う特別な警備である。緊張感をもって頑張っていたきたい。審議案のとおり承認する。』との発言があった。

## 3 報告事項

- (1) 令和元年全国地域安全運動の実施について

県警察から、令和元年全国地域安全運動の実施に関する報告があった。

10月11日（金）から20日（日）までの10日間、「令和元年全国地域安全運動」が実施される。

運動重点は、「子供と女性の犯罪被害防止」と「特殊詐欺の被害防止」の二つで、運動期間中、県内各地で街頭キャンペーン等の広報啓発活動や通学路等の防犯パトロール、あいさつ運動、特殊詐欺被害防止のための防犯講話などが行われ、県民の防犯意識向上を図る。

また、期間中の10月12日（土）には、イオンモール秋田1階のセントラルコートにおいて、警察本部、秋田市内3警察署合同による「安全・安心まちづくりフェスタ2019」を開催し、同運動を盛り上げるとのことである。

委員から、『全国では、毎日のように子供や女性が犯罪の被害に遭っているほか、特殊詐欺の大きな被害も発生している。地域安全運動を通じて、少しでも被害に遭う人が出ないように訴えていただきたい。』との発言があった。

(2) 令和元年秋の全国交通安全運動の実施結果について

県警察から、令和元年秋の全国交通安全運動の実施結果に関する報告があった。

9月21日から9月30日までの10日間、「子供と高齢者の安全な通行の確保」等を重点とした令和元年秋の全国交通安全運動が実施され、各警察署等において、関係機関・団体等と連携し、各種行事、キャンペーンを実施した。

運動期間中の交通事故発生状況は、発生件数47件、死者数0人、負傷者数60人で、前年同期に比べ、発生件数は8件、負傷者数は15人それぞれ増加したが、死者数は2人減少したとのことである。

委員から、『運動期間中、死者がゼロだったのは、地道な活動の成果である。今後も心に訴えるような運動で、秋田県は運転マナーが良いというムードを盛り上げていただきたい。』との発言があった。

(3) 令和元年9月末の交通事故発生状況について（概数）

県警察から、令和元年9月末の交通事故発生状況に関する報告があった。

9月中の交通事故発生状況は、発生件数121件、死者数は1人、負傷者数152人と、前年同期より発生件数は2件、負傷者数は10人増加したが、死者は2人減少したとのことである。

委員から、『運転者は法令を守り、歩行者もルールを守るという原点について指導啓発をお願いします。』との発言があった。